

2025年3月30日

2024年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 オトDAN☆Tokyo
代表 氏名 嶋田優子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

ひとりひとりがアーティスト！ステージに立つ夢をかなえたい！

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2020年9月に、保育園のママ友として出会ったふたりが創設。既存のダンススクールに代わるものとして、障害があっても多種多様なメンバーひとりひとりの個性を受け入れ、伸ばし、輝いて表現する場を作りたいと、毎月のワークショップや出張ライブを行いながら、多ジャンルのプロアーティストたちを巻き込んで参加者とともにワクワクする空間を作り続けている。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

団体として成熟し、活動発表での手ごたえも感じられたため、プロダンサーや地域の子供たちとの交流の機会を増やし、障害があっても、ともにステージに立ち作品を上演することで、インクルーシブな芸術活動を実現したい。また、広く一般市民にこれを観てもらうことで活動をアピールしたい。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

地域でダンスや表現活動をする中学生を座長に起用し、脚本・選曲・振付などの演出を手掛けてもらった。ディズニーのライオンキングに着想を得て、ダンスエンターテイメントという形で50分ほどの作品に仕上げた。オトダンススタッフはスーパーバイザーという形で座長をサポートしながら、障害があっても輝けるステージづくりを裏方として支えた。地元のキッズダンサーたちをオーディションで配役決定し、4月よりリハーサルを開始、武蔵村山市のからホールで8月25日に上演。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

リハーサルの段階から、多様な特性を持った参加者たちが成長していく様子が見られ、また気持ちを合わせて踊る様子に感動して、関係者が涙ぐむほどに素敵なパワーを持った作品に仕上りました。昼夜2回公演で、48名のキャストが、観客を惹きつけるそのエネルギーは、大きな反響を呼び、「勇気をもらった」「我が子がこんなことができるなんて」といった、観客やキャストの保護者も、世界が広がるきっかけとなりました。

6. プロジェクト実施にあての課題、今後の展望など 300文字まで

中学生座長の住む東大和市教育委員会からは、その功績を表彰されました。もう一度見たい、という声をたくさんいただき、新たに資金援助を申し出てくれる方がいたおかげで、2025年4月4日に再演が決まり、現在リハーサル中です。団体運営の仲間に加わりたいというアーティスや、オトダンの活動を応援したいという地元飲食店なども現れ、今後のオトダンの活動にも大きな道筋を与えるきっかけとなつたと考えています。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

